

需給調整市場

三次調整力②基準値計画および各リスト・パターンにおける
受領業務ビジネスプロトコル標準規格(Ver.3A)記載要領

2022年6月1日



電力広域的運営推進機関

Organization for Cross-regional Coordination of
Transmission Operators, JAPAN

はじめに

この記載要領は、BP標準規格を利用して、取引会員（アグリゲーションコーディネータ（[ネガワット・ポジワット・ネガポジ](#)））から需給調整市場へ提出する三次調整力②基準値計画および各リスト・パターンのビジネスプロトコル標準規格の解釈やデータ入力の考え方について、入力支援ツールの記載例を用いて解説を行うものです。

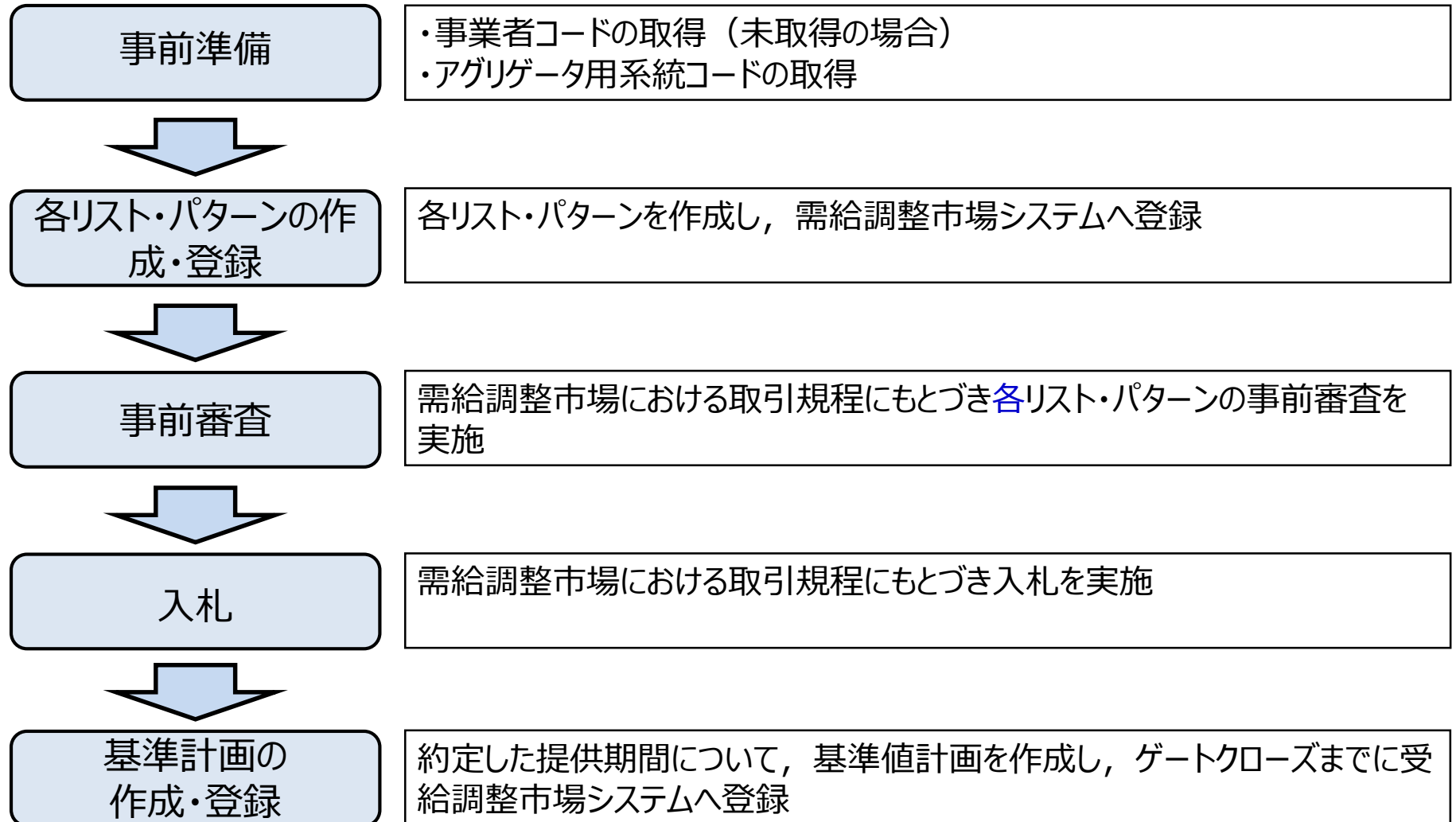
対象者

需給調整市場にアグリゲーションコーディネータとして、三次調整力②※基準値計画および各リスト・パターンを提出して頂く需給調整市場の取引会員を対象としています。

※本記載要領の対象は三次調整力②のみとなります。三次調整力①については「[三次①基準値計画および需要家リスト・パターンにおける受領業務ビジネスプロトコル標準規格記載要領](#)」をご参照ください

全体の概略フロー

取引会員に実施していただく作業の概略フローは以下の通りです。



事前準備（各種コードの取得）

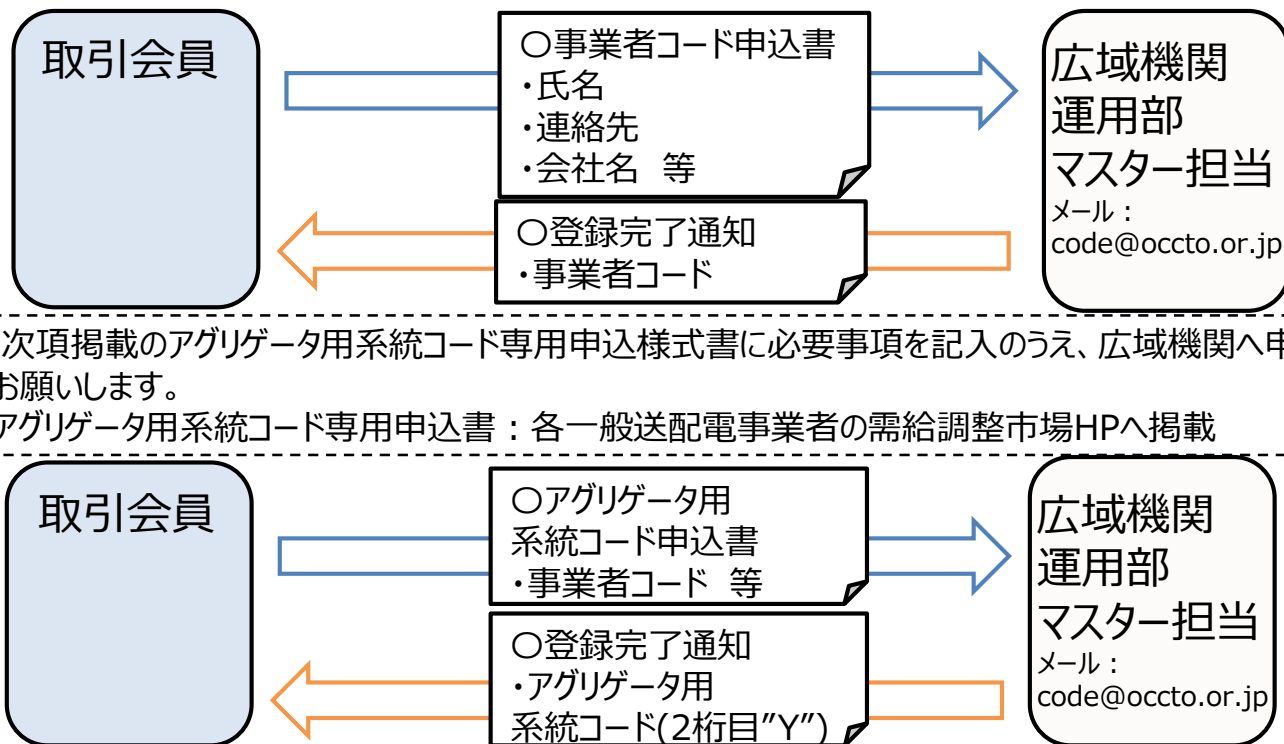
- 需要リソースを用いて、需給調整市場システムへ入札および基準値計画を提出するためには、**アグリゲータ用系統コード**が必要となります。
- 需給調整市場で2 資格付与を許可された事業者は**、アグリゲータ用事業者コードとアグリゲータ用系統コードを同時に申込みいただきます。

1 アグリゲータ用 事業者コード 申請

- 需給調整市場で2 資格付与を許可された事業者は、アグリゲータ用事業者コード申込様式書に必要事項を記入のうえ、アグリゲータ用系統コードの申請と併せて、広域機関へ申込みお願いします。（原則、特定卸供給事業のライセンス化に伴い取得した事業者コードをご利用ください）
アグリゲータ用事業者コード申込書：各一般送配電事業者の需給調整市場HPへ掲載

2 アグリゲータ用 系統コード申請

- 次項掲載のアグリゲータ用系統コード専用申込様式書に必要事項を記入のうえ、広域機関へ申込みお願いします。
アグリゲータ用系統コード専用申込書：各一般送配電事業者の需給調整市場HPへ掲載



事業者コードの取得（申請）

- 需給調整市場で2 資格付与を許可された事業者は、「需給調整市場アグリゲータ用事業者コード」の取得が必要です。
- アグリゲータ用事業者コードの申請の際は、参入予定エリアのアグリゲータ用系統コードの申請と同時にお願いします。
- このため、下記メール例を参考に、件名および本文に「需給調整市場アグリゲータ用事業者コードおよび系統コード」の申請である旨を記載し、申請書を添付のうえ、広域機関へ需給調整市場アグリゲータ用系統コードを申請下さい。

1 【需給調整市場アグリゲータ用事業者コードと系統コードの申請メール記載例】

宛先 : code@occto.or.jp

件名 : 需給調整市場アグリゲータ用事業者コードおよび系統コード申請

件名は“需給調整市場アグリゲータ用事業者コードおよび系統コード申請”と記載

添付ファイル :  アグリゲータ用事業者コード申請書  アグリゲータ用系統コード申請書

事業者コードと系統コードの申請書を添付

本文 :

電力広域的運営推進機関運用部 マスター担当 御中

グローバルリソース* * アグリゲータ 運用部 ○○と申します。

添付のとおり、『需給調整市場アグリゲータ用事業者コードと系統コード』を申請します。

本文にも“需給調整市場アグリゲータ用事業者コードと系統コード”の申請である旨を明記

事業者コードの取得（申請様式）

需給調整市場アグリゲータ用事業者コードは、下記アグリゲータ用事業者コード専用申込書にて、広域機関へ申請お願いします。

1 【需給調整市場アグリゲータ用事業者コード専用申込書記載例】

需給調整市場アグリゲータ用事業者マスタ申請			
広域機関入力項目			
事業者コード			
事業者入力項目			
申請区分	記載不要		
申請区分	新規		
申請内容			
送配電ライセンス			
契約開始日 ※2016/02/01	2016/02/01		
適用開始日※	2016/02/01	適用終了日	9999/12/31
事業者名称	グローバルリソース**アグリゲータ		
事業者名略称	グローバルリソース		
郵便番号	261-000*		
住所	千葉県千葉市美浜区** - ** - *		
ドメイン名			
連絡者所属	リソースソリューション企画部電力受給グループ		
連絡者氏名	鈴木 ○○		
連絡者電話番号	0438-**-*****	連絡者FAX番号	
連絡者メール	suzuki **@global.resource.**.co.jp		
ライセンス区分 (1件は必須入力)	区分なし(需要抑制) ライセンス区分の設定 ポジアグリ : 発電 ネガポジアグリ・ネガアグリ : 区分なし（需要抑制）		

アグリゲータ用系統コードの取得（申請）

- 「需給調整市場アグリゲータ用系統コード」は、2桁目が“Y”であり、従来の発電計画提出用系統コードとコード体系が異なります。
- 下記メール例のとおり、件名および本文に「需給調整市場アグリゲータ用系統コード」の申請である旨を記載し、申請書を添付のうえ、広域機関へ需給調整市場アグリゲータ用系統コードを申請して下さい。

2 【需給調整市場アグリゲータ用系統コード申請メール記載例】

宛先：	code@occto.or.jp	
CC：		
BCC：		
件名：	需給調整市場アグリゲータ用系統コード申請	件名は“需給調整市場アグリゲータ用系統コード申請”と記載
添付ファイル：	 アグリゲータ用系統コード申請書	次項の申請書を添付
本文：	電力広域的運営推進機関運用部 マスター担当 御中 グローバルリソース ＊ ＊ アグリゲータ 運用部 ○○と申します。 添付のとおり、『需給調整市場アグリゲータ用系統コード』を申請します。	

アグリゲータ用系統コードの取得（申請様式）

●需給調整市場アグリゲータ用系統コードは、下記アグリゲータ用系統コード専用申込書にて広域機関に申請をお願いします。

●アグリゲータ用系統コードの登録には事業者コードが必要となりますので、事業者コードを取得していない場合は、アグリゲータ用事業者コードとアグリゲータ用系統コードを同時に申請してください。

2【需給調整市場アグリゲータ用系統コード専用申込書記載例】

需給調整市場アグリゲータ用系統コード申請

事業者入力項目

申請区分	新規		
申請内容			
電源所属エリア名	東京	電源種別	調整電源
電圧種別	低圧	変更不可	
契約開始日	2021/04/01		
適用開始日	2021/04/01	適用終了日	2099/12/31
同時最大受電電力	999999999		kw
発電所名	グローバルリソース**アグリゲータ		発電所名には事業者名称を記載
発電所名略称	アグリ804*3		
事業者コード	804*3	事業者名称(発電所所有者) グローバルリソース**アグリゲータ	
郵便番号	261-000*		
住所	千葉県千葉市美浜区**-*-*		
連絡者所属	リソースソリューション企画部電力受給グループ		
連絡者氏名	鈴木 ○○		
連絡者電話番号	0438-**-****	連絡者FAX番号	
連絡者メール	suzuki **@global.resource.**.co.jp		
所属事業者情報			
所属事業者コード	804*3	所属事業者名称	グローバルリソース**アグリゲータ

“アグリ”&所属事業者コードを記載
(事業者コード未取得の場合、“アグリ”のみ記載)

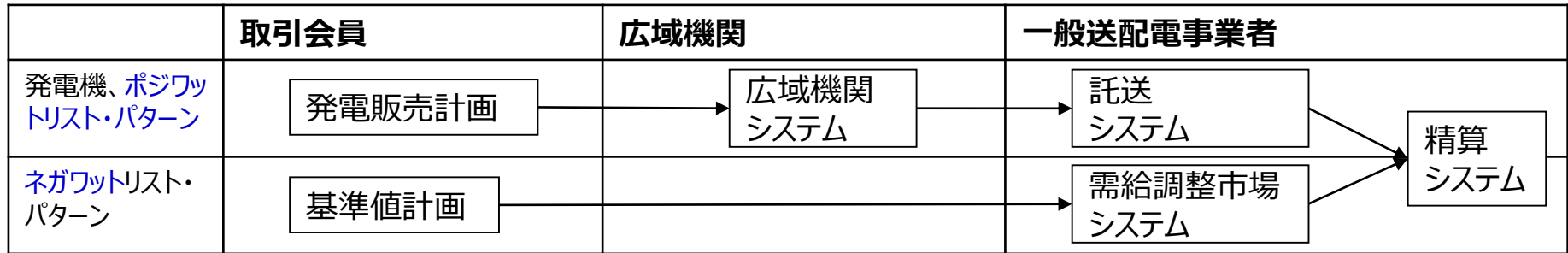
事業者コード未取得の場合、事業者コードと同時に申請

三次調整力②基準値計画記載要領

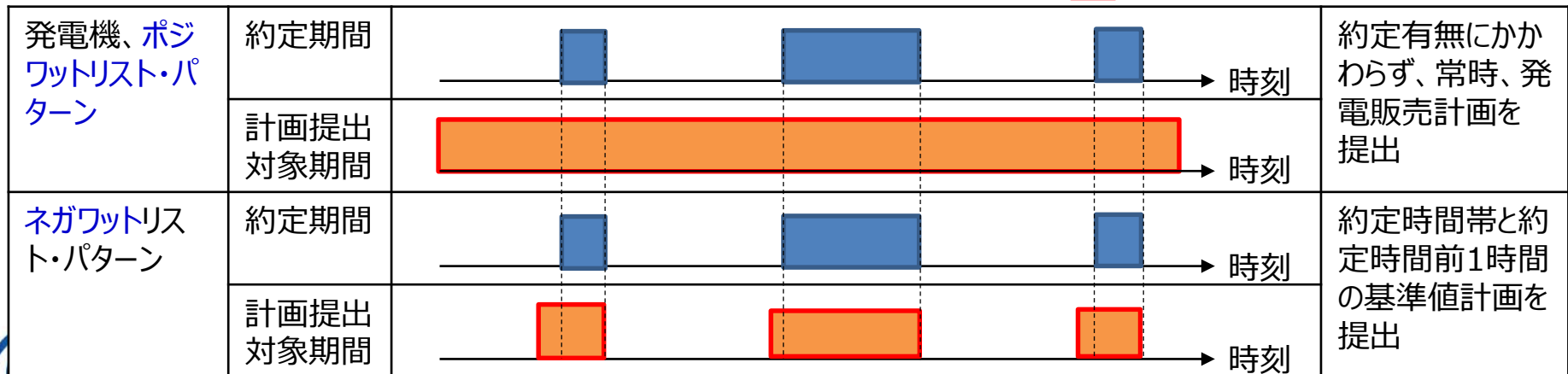
基準値計画の提出

- ・三次調整力②において、 ΔkW のアセスメントおよび調整力kWhの算定は、発電販売計画および基準値計画を基に実施します。
 - ・発電機やポジワットリスト・パターンにおいて、発電販売計画は、発電契約者が広域機関に提出している値が用いられます。
 - ・ネガワットリスト・パターンにおいて、アグリゲーションコーディネータは、入札するリソースが調整を行わない場合の基準値計画（稼働計画）を作成し、約定ブロックの1時間前までに需給調整市場システムへ登録します。
- ※ネガワット・ポジワットが混在するネガポジリスト・パターンを用いるアグリゲーションコーディネータは、上記 発電販売計画と基準値計画の両方が該当します。

【発電機および需要家リスト・パターンの計画提出フロー】



【約定時間帯と発電販売計画および基準値計画提出対象期間】 ■:約定期間 ■:計画提出対象期間



基準値計画の作成単位と提出期限

・ネガワットを用いるアグリゲーションコーディネータは、約定した商品ブロックの開始1時間前と、約定対象時間帯の基準値計画を約定した商品ブロックの開始時刻1時間前までに、需給調整市場システムへ登録※いただきます。

※基準値計画の未提出または不備がある場合、供出可能量はゼロとして扱います。

・なお、2ブロック以上連続して約定した場合でも、基準値計画は約定した商品1ブロックにつき1ファイル作成および提出いただきます。

【約定ブロックと基準値計画の提出期限例】

4月3日	～ ～	9:00～ 12:00	12:00～15:00	15:00～18:00	18:00～ 21:00	～ ～
約定有無	～ ～	無	有	有	無	～ ～
基準値計画 提出可否		不要	必要(提出ファイル：基準値①)	必要(提出ファイル：基準値②)	不要	

基準値①の提出期限(4月3日11時) 基準値②の提出期限(4月3日14時)



→ 時間

対象時刻	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30
基準値計画②	160	160	180	180	170	160	160	160

対象時刻	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
基準値計画①	190	180	180	180	170	160	160	160

基準値計画について

- ✓ 基準値は、需要抑制指令がない場合の30分あたりの予測需要(kWh)を需要BG単位に想定します。
- ✓ 需給調整市場で約定した1ブロック毎に約定ブロックの前1時間と約定ブロックの基準値を需要BG単位に作成し、需給調整市場システムにゲートクローズまでに登録します。

【三次調整力②基準値入力支援ツール記載例】

三次調整力②基準値計画入力支援ツール

- ☐ : 必須入力箇所
☐ : 自動入力箇所
☐ : マクロで変更

対象年月日	20210403	読込ファイル名	C:\Users\¥Desktop¥W9_0132_20210402_07_3Y**5_MMS.xml
対象商品ブロック	ブロック②	出力先	C:\Users\¥Desktop¥提出ファイル
対象需要家リスト・パターン	パターン⑧		

対象商品ブロック変更

小売電気事業者数変更

基準値XML読込

基準値XML出力

XMLファイル妥当性検証

終了(上書保存)

基本情報		出力ファイル名情報	
コード	名称▲	XMLファイル名	W9_0132_20210403_07_3Y**5_MSS.xml
情報区分	0132 3次②基準値計画	対象時期の開始日	20210403
提出先事業者	10033 東京電力 P G	約定対象開始コマ番号	07
送信事業者	8***3 グローバルリソースアグリゲータ	アグリゲータ用系統コード	3Y**5
提出者(アグリゲータ用系統コード)	3Y**5 グローバルリソースアグリゲータ	電源等コード	MMS
運用モード	通常		

合計基準値	基準値内訳			
	小売電気事業者 1	小売電気事業者 2	小売電気事業者 3	小売電気事業者 4
小売電気事業者コード	42**3	41**3	40**3	47**3
小売電気事業者名称▲	東京エナジー	関東でんき	六本木パワー	タワーレジデンス
合計基準値 = Σ基準値計内訳				

対象ブロック	対象30分 コマ番号	時間帯	基準値合計(kWh) ▲	基準値(kWh)	基準値(kWh)	基準値(kWh)	基準値(kWh)
ブロック①	47	23:00~23:30					
	48	23:30~24:00					
	01	00:00~00:30					
	02	00:30~01:00					
	03	01:00~01:30					
	04	01:30~02:00					
ブロック②	05	02:00~02:30	8,900	1,500	2,100	3,000	2,300
	06	02:30~03:00	8,600	1,500	2,100	3,000	2,000
	07	03:00~03:30	8,400	1,500	2,000	3,000	1,900
	08	03:30~04:00	8,300	1,500	2,000	3,000	1,800
	09	04:00~04:30	8,300	1,500	2,000	3,000	1,800
	10	04:30~05:00	8,700	1,500	2,000	3,500	1,700
	11	05:00~05:30	9,400	1,500	2,100	4,000	1,800
	12	05:30~06:00	10,200	1,500	2,100	4,500	2,100
ブロック③	13	06:00~06:30					
	14	06:30~07:00					
	15	07:00~07:30					
	16	07:30~08:00					
	17	08:00~08:30					
	18	08:30~09:00					

“対象ブロック+前1時間”以外は入力不可

内訳の小売電気事業者数は任意に増減可能

“対象ブロック+前1時間”以外は入力不可

基準値計画の記載方法（対象年月日）他

対象年月日	20210403
対象商品ブロック	ブロック②
対象需要家パターン	パターン⑧

データ項目	説明
対象年月日	当該計画が対象とする年月日。入力は，YYYYMMDDの数字8桁。
対象商品ブロック	当該計画が対象とする商品ブロック。商品ブロックの対象時間は下記の通り。 ・ブロック①：00時00分から03時00分まで ・ブロック②：03時00分から06時00分まで ・ブロック③：06時00分から09時00分まで ・ブロック④：09時00分から12時00分まで ・ブロック⑤：12時00分から15時00分まで ・ブロック⑥：15時00分から18時00分まで ・ブロック⑦：18時00分から21時00分まで ・ブロック⑧：21時00分から24時00分まで
対象需要家リスト・パターン	当該計画が対象とする各リストのパターン。 なお，通常運用で利用できる各リストのパターンは，パターン①～パターン⑩とする。

基準値計画の記載方法（基本情報）

基本情報		
	コード	名称▲
情報区分	0132	三次調整力②基準値計画
提出先事業者	10033	東京電力 P G
送信事業者	8***3	グローバルリソースアグリゲータ
アグリゲータ用系統コード	3Y**5	グローバルリソースアグリゲータ
運用モード	通常	

データ項目	説明
情報区分コード	当該計画の種別を示すコード。“0132”（3次②基準値計画）固定。 将来、高次商品に対応できるよう次のコードを予約。 ・0131:三次①基準値計画, ・0122:二次②基準値計画, ・0121:二次①基準値計画
提出先事業者コード	需給調整市場システムを介して計画を提出する一般送配電事業者を示すコード。 ・10011:北海道電力ネットワーク株式会社, ・10022:東北電力ネットワーク株式会社, ・10033:東京電力パワーグリッド株式会社, ・10044:中部電力パワーグリッド株式会社, ・10055:北陸電力送配電株式会社, ・10066:関西電力送配電株式会社, ・10077:中国電力ネットワーク株式会社, ・10088:四国電力送配電株式会社, ・10099:九州電力送配電株式会社, ・10100:沖縄電力株式会社
提出先事業者名称▲	提出先事業者の名称。入力有無は任意。
送信事業者コード	計画を提出する事業者の事業者コード(4桁)+提出先事業者コードの下1桁。 例)事業者コードXXXX 東京電力パワーグリッドエリアに提出 →送信事業者コード:XXXX3
送信事業者名称▲	送信事業者の名称
アグリゲータ系統コード	需給調整市場に入札するためのアグリゲータ用系統コード。2桁目“Y”。
アグリゲータ系統コード名称▲	需給調整市場に入札するためのアグリゲータの名称。入力有無は任意。
運用コード	「通常」は計画提出用。「テスト」はデータ試験用。

基準値計画の記載方法（出力ファイル名情報）

出力ファイル名情報	
XMLファイル名	W9_0132_20210403_07_3Y**5_MMS.xml
対象年月日	20210403
約定対象開始コマ	07
アグリゲータ用系統コード	3Y**5
電源等コード	MMS

データ項目	説明
XMLファイル名	以下のデータ項目を用いて作成。項目間は“_”(アンダーバー)とする。
BPID副機関コード	需給調整市場を示す“W9”固定。
情報区分コード	三次調整力②基準値計画を示す“0132”固定。
対象年月日	“対象年月日”の入力値が自動反映。
約定対象開始コマ	“対象商品ブロック”の選択値から下記の変換後の値を自動反映。 “ブロック①:01”, “ブロック②:07”, “ブロック③:13”, “ブロック④:19”, “ブロック⑤:25”, “ブロック⑥:31”, “ブロック⑦:37”, “ブロック⑧:43”
アグリゲータ用系統コード	“アグリゲータ系統コード”の入力値が自動反映。
電源等コード	需給調整市場システムへ登録したアグリゲーションコーディネータを示すコードを入力。

■ 注意事項

同一ファイル名の計画を受信した場合、需給調整市場システム内部では、先に提出された計画に、後から提出された計画が上書きされます(システム上、一旦提出された計画を取り下げることはできません)。

基準値計画の記載方法（基準値）

小売電気事業者数変更

合計基準値	基準値内訳	
	小売電気事業者 1	小売電気事業者2
合計基準値 = Σ基準値内訳	小売電気事業者コード	小売電気事業者コード
	42**3	41**3
	小売電気事業者名称	小売電気事業者名称
	東京エナジー	関東でんき
合計基準値(kWh) ▲	基準値(kWh)	基準値(kWh)
■ 注意事項 小売電気事業者数に合わせて、支援ツールの小売電気事業者数を増減させて下さい。 基準値に空白箇所があるとエラーとなります。		
8,900	1,500	2,100
8,600	1,500	2,100
8,400	1,500	2,000
8,300	1,500	2,000
8,300	1,500	2,000
8,700	1,500	2,000
9,400	1,500	2,100
10,200	1,500	2,100

■ 注意事項

小売電気事業者数に合わせて、支援ツールの小売電気事業者数を増減させて下さい。

基準値に空白箇所があるとエラーとなります。

データ項目	説明
合計基準値(kWh)	入力した基準値内訳を30分コマ毎に合計した値が自動反映。入力有無は任意。
小売電気事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示す事業者コード。
小売電気事業者名称	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者の名称。入力有無は任意
基準値(kWh)	リソースの基準値を小売電気事業者毎の入力。なお、選択した“対象商品ブロック”に対し、当該対象ブロックの前 1 時間と当該商品ブロックの対象時間のみに基準値の入力を許可する。

(参考) 基準値計画のXMLファイル構造

基準値計画のXMLファイル構造は下記の通りです。

【ヘッダ】

情報区分コード：0232, 送信者コード・名称, 受信者コード・名称, アグリゲータ用系統コード・名称, 対象年月日, 対象ブロック, **各**リスト・パターン

【合計基準値】


M10
(8)

【対象ブロック開始60分前】
対象時刻コード, 合計基準値

【対象ブロック開始30分前】
対象時刻コード, 合計基準値

【対象ブロック開始0分】
対象時刻コード, 合計基準値

【対象ブロック開始30分後】
対象時刻コード, 合計基準値

⋮

【対象ブロック開始150分後】
対象時刻コード, 合計基準値

【基準値内訳】

【小売電気事業者 1】
小売電気事業者コード・名称


M12
(8)

【対象ブロック開始60分前】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始30分前】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始0分】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始30分後】
対象時刻コード, 基準値

⋮

【対象ブロック開始150分後】
対象時刻コード, 基準値

【小売電気事業者 2】
小売電気事業者コード・名称


M12
(8)

【対象ブロック開始60分前】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始30分前】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始0分】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始30分後】
対象時刻コード, 基準値

⋮

【対象ブロック開始150分後】
対象時刻コード, 基準値


M11
(999)
⋮

三次調整力②各リスト・パターン記載要領

各リスト・パターンのファイル作成単位について

✓ 各リスト・パターンは、各パターン毎に1ファイルを作成します。

【各リスト例】

需要家	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④	パターン⑤
A	○	○	○	○	○
B	○	○	○		
C	○			○	
発電所					
D	○	○			○
E	○			○	

1 パターン
1 ファイル

1 パターン
1 ファイル

1 パターン
1 ファイル

1 パターン
1 ファイル

1 パターン
1 ファイル

【各リスト・
パターンの
ファイル例】

需要家	パターン①
A	○
B	○
C	○
発電所	
D	○
E	○

需要家	パターン②
A	○
B	○
発電所	
D	○

需要家	パターン③
A	○
B	○

需要家	パターン④
A	○
C	○
発電所	
E	○

需要家	パターン⑤
A	○
発電所	
D	○

各リスト・パターンについて

- ✓ 各リスト・パターンは、需給調整市場に統合制御して入札するリソースのポートフォリオです。
- ✓ 各パターンのXMLファイルは、入札するパターン毎に1ファイル作成し、需給調整市場システムに登録します。

【三次調整力②各リスト・パターン入力支援ツール記載例】

☐ : 必須入力箇所

☐ : 自動入力箇所

ネガワットリスト需要家数変更

ポジワットリスト発電所数変更

各リスト・パターンXML読込

各リスト・パターンXML出力

XMLファイル妥当性検証

終了(上書保存)

各リスト・パターン xmlファイル入力支援ツール

対象各リスト・パターン	パターン⑧	読込ファイル名	C:\Users¥Desktop¥W9_0232_20210402__3Y**5_08_MMS.xml
供出可能量(kW)	63,303	出力先	C:\Users¥Desktop¥提出ファイル
適用開始希望年月日	20210418		
基本情報		出力ファイル名情報	
コード	0232	XMLファイル名	W9_0232_20210402_3Y**5_08_MMS.xml
情報区分	0232	対象時期の開始日	20210403
提出先事業者	10033	アグリゲータ用系統コード	3Y**5
送信事業者	8***3	パターン番号	08
アグリゲータ用系統コード	3Y**5	電源等コード	MMS
運用モード	通常		

ネガワットリスト

需要家情報							小売電気事業者情報		他需要抑制契約の状況
NO	供給地点特定番号	需要家名称	所在地	契約電力(kW)	電圧区分	供出方法	小売電気事業者コード	小売電気事業者名称	類型Ⅰ② 需要抑制BGコード
1	03111111111111111111	東京工場	東京都大田区〇-〇-〇	5,856	特高	需要抑制	422*3	P2Pネット	****3
2	03222222222222222222	神奈川工場	神奈川県川崎市△-△-△	7,152	特高	需要抑制	422*3	P2Pネット	****3
3	03333333333333333333	千葉工場	千葉県千葉市●-●-●	1,782	低圧	電源(自家発電等)	433*3	地球パワー	無
4	03444444444444444444	埼玉工場	埼玉県さいたま市○-○-○	4,300	高圧	需要抑制	418*4	次世代パワー	無

任意に
増減
可能

ポジワットリスト

発電所情報								発電販売計画情報			
NO	受電地点特定番号	発電所名称	所在地	契約受電電力(kW)	電圧区分	電源の種類	発電方式	火力燃料種類	発電BGコード	発電BG名称	系統コード
1	03555555555555555555	栃木発電所	栃木県宇都宮市〇-〇-〇	2,000	特高	火力	汽力	LNG	*****	〇〇BG	*****
2	03666666666666666666	茨木川発電所	茨木県水戸市△-△-△	1,000	高圧	太陽光	その他	その他	*****	△△BG	*****
3	03321321321321321321	群馬発電所	群馬県前橋市●-●-●	1,500	高圧	風力	その他	その他	*****	●●BG	*****

需要家リスト・パターンの記載方法（対象年月日）他

対象需要家リスト・パターン	パターン⑧
供出可能量(kW)	63,303
適用開始希望年月日	20210403

データ項目	説明
対象各リスト・パターン	当該各リスト・パターンの番号。なお、通常運用で利用できる各リストのパターンは、パターン①～パターン⑩とする。
供出可能量(kW)	当該各リスト・パターンに記載されているリソースのポートフォリオにおいて、属地エリアの一般送配電事業者の指令にもとづく発電または需要抑制により供出できる量(kW)
適用開始希望年月日	当該各リスト・パターンの適用を希望する年月日。入力は、YYYYMMDDの数字8桁。

需要家リスト・パターンの記載方法（基本情報）

基本情報		
	コード	名称▲
情報区分	0232	三次調整力②各リスト・パターン
提出先事業者	10033	東京電力 P G
送信事業者	8***3	グローバルリソースアグリゲータ
アグリゲータ系統コード	3Y**5	グローバルリソースアグリゲータ
運用モード	通常	

データ項目	説明
情報区分コード	当該計画の種別を示すコード。“0232”（三次調整力②各リスト・パターン）固定。 ・0232:三次調整力②各リスト・パターン、・0231:三次①需要家リスト・パターン
提出先事業者コード	需給調整市場システムを介して計画を提出する一般送配電事業者を示すコード。 ・10011:北海道電力ネットワーク株式会社、・10022:東北電力ネットワーク株式会社、 ・10033:東京電力パワーグリッド株式会社、・10044:中部電力パワーグリッド株式会社、 ・10055:北陸電力送配電株式会社、・10066:関西電力送配電株式会社、 ・10077:中国電力ネットワーク株式会社、・10088:四国電力送配電株式会社、 ・10099:九州電力送配電株式会社、・10100:沖縄電力株式会社
提出先事業者名称▲	提出先事業者の名称。入力有無は任意。
送信事業者コード	需要家リストを提出する事業者の事業者コード(4桁)+提出先事業者コードの下1桁。 例)事業者コードXXXX 東京電力パワーグリッドエリアに提出 →送信事業者コード:XXXX3
送信事業者名称▲	送信事業者の名称
アグリゲータ系用統コード	需給調整市場に入札するためのアグリゲータ用系統コード。2桁目“Y”。
アグリゲータ用系統コード名称▲	需給調整市場に入札するためのアグリゲータの名称。入力有無は任意。
運用コード	「通常」は計画提出用。「テスト」はデータ試験用。

需要家リスト・パターンの記載方法（出力ファイル名情報）

出力ファイル名情報	
XMLファイル名	W9_0232_20210403_3Y**5_08_MMS.xml
対象時期の開始日	20210403
系統コード	3Y**5
需要家パターン	08
電源等コード	MMS

データ項目	説明
XMLファイル名	以下のデータ項目を用いて作成。項目間は“_”(アンダーバー)とする。
BPID副機関コード	需給調整市場を示す“W9”固定。
情報区分コード	三次調整力②需要家リスト・パターンを示す“0232”固定。
対象時期の開始日	“適用開始希望年月日”の入力値が自動反映。
アグリゲータ系統コード	“アグリゲータ用系統コード”の入力値が自動反映。
対象需要家リスト・パターン番号	“対象各リスト・パターン”の入力値から各リスト・パターン番号が自動反映。
電源等コード	需給調整市場システムへ登録したアグリゲーションコーディネータを示すコードを入力。

各リスト・パターンの記載方法（ネガワットリスト）

ネガワットリスト

需要家情報							小売電気事業者情報		他需要抑制契約の状況
NO	供給地点特定番号	需要家名称	所在地	契約電力(kW)	電圧区分	供出方法	小売電気事業者コード	小売電気事業者名称▲	類型Ⅰ② 需要抑制BGコード
1	03111111111111111111	東京工場	東京都大田区〇-〇-〇	5,856	特高	需要抑制	LA2*3	P2Pネット	****3
2	03222222222222222222	神奈川工場	神奈川県川崎市△-△-△	7,152	特高	需要抑制	LA2*3	P2Pネット	****3

データ項目	説明
供給地点特定番号	ネガワットリソースの供給地点特定番号。入力は数字22桁。
需要家名称	ネガワットリソースの需要家名称。
所在地	ネガワットリソースの所在地。
契約電力(kW)	ネガワットリソースの契約電力。
電圧区分	ネガワットリソースの供給電圧。“特高”，“高圧”，“低圧”より選択。
供出方法	ネガワットリソースの調整力供出方法。“需要抑制”と“電源（自家発等）”より選択。
小売電気事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示す事業者コード。
小売電気事業者名称▲	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者の名称。入力有無は任意。
類型Ⅰ② 需要抑制BGコード	ネガワットリソースが類型Ⅰ②も契約している場合，次類Ⅰ②需要抑制BGコードを入力。契約が無い場合は，“無”を入力。

ネガワットリスト
需要家数変更

■ 注意事項

当該各リスト・パターンの需要家数に合わせて，支援ツールの需要家数を増減させて下さい。
需要家情報において，空白項目があるとエラーとなります。

各リスト・パターンの記載方法（ポジワットリスト）

ポジワットリスト											
発電所情報								発電販売計画情報			
NO	受電地点特定番号	発電所名称	所在地	契約受電電力(kW)	電圧区分	電源種別	発電方式	火力燃料種別	発電BGコード	発電BG名称	系統コード
1	035555555555555555555555	栃木発電所	栃木県宇都宮市〇-〇-〇	2,000	特高	火力	汽力	LNG	*****	〇〇BG	*****
2	036666666666666666666666	茨木川発電所	茨木県水戸市△-△-△	1,000	高圧	太陽光	その他	その他	*****	△△BG	*****

データ項目	説明
受電地点特定番号	ポジワットリソースの受電地点特定番号。入力は数字22桁。
発電所名称	ポジワットリソースの発電所名称。
所在地	ポジワットリソースの所在地。
契約受電電力(kW)	ポジワットリソースの契約受電電力(kW)。
電圧区分	ポジワットリソースの供給電圧。“特高”，“高圧”より選択。
電源種別	ポジワットリソースの電源の種別。“火力”，“水力”，“太陽光”，“風力”，“地熱”，“蓄電池”，“その他”より選択。
発電方式	ポジワットリソースの発電方式。“コンバインドサイクル”，“汽力”，“ディーゼル”，“水力”，“太陽光”，“風力”，“地熱”，“蓄電池”，“その他”より選択。
火力燃料種別	ポジワットリソースの電源の種別が“火力”であった場合の燃料種別。“原油”，“重油”，“軽油”，“LNG”，“LPG”，“NGL”，“都市ガス”，“灯油”，“石炭”，“木質ペレット”，“その他”より選択。火力以外は“その他”を選択。
発電BGコード	ポジワットリソースの所属発電BGコード。
発電BG名称	ポジワットリソースの所属発電BGの名称。
系統コード	ポジワットリソースの発電計画用系統コード。

ポジワットリスト
発電所数変更

運営推進

■ 注意事項

当該各リスト・パターンの発電所数に合わせて、支援ツールの発電所数を増減させて下さい。
発電所情報において、空白項目があるとエラーとなります。

(参考) 各リスト・パターンのXMLファイル構造

各リスト・パターンのXMLファイル構造は下記の通りです。

【ヘッダ】

情報区分コード：0232, 送信者コード・名称, 受信者コード・名称, アグリゲータ用系統コード・名称, 適用開始希望年月日, 需要家リスト・パターン, 供出可能量

【ネガワットリスト】

【需要家No.1】

供給地点特定番号, 需要家名称, 所在地, 契約電力(kW), 電圧区分, 供出方法,
小売電気事業者コード・名称, 類型 I ②需要抑制BGコード

【需要家No.2】

供給地点特定番号, 需要家名称, 所在地, 契約電力(kW), 電圧区分, 供出方法,
小売電気事業者コード・名称, 類型 I ②需要抑制BGコード

⋮



M10
(9,999)

【ポジワットリスト】

【需要家No.1】

受電地点特定番号, 発電所名称, 所在地, 契約受電電力(kW), 電圧区分, 電源種別,
発電方式, 火力燃料種別, 発電BGコード, 発電BG名称, 系統コード

【需要家No. 2】

受電地点特定番号, 発電所名称, 所在地, 契約受電電力(kW), 電圧区分, 電源種別,
発電方式, 火力燃料種別, 発電BGコード, 発電BG名称, 系統コード

⋮



M10
(999)

提出ファイルの整合性・妥当性確認について

ネガワットを含む各リスト・パターンと基準値計画の整合性確認について

基準値計画は、需給調整市場で約定して供出するリソースとして登録したネガワットを含む各リスト・パターンと下記のコードを一致させる必要があります。

- ・対象各リスト・パターン：約定ブロックの供出リソースとして登録した各リスト・パターンと一致させます。
- ・提出先事業者コード：常に各リスト・パターンと基準値計画のコードを一致させます。
- ・送信事業者コード：常に各リスト・パターンと基準値計画のコードを一致させます。
- ・アグリゲータ用系統コード：常に各リスト・パターンと基準値計画のコードを一致させます。

【三次調整力②需要家リスト・パターン入力支援ツール】 【三次調整力②基準値入力支援ツール】

☐ : 必須入力箇所
☐ : 自動入力箇所

ネガワットリスト需要家数変更
 ネガワットリスト需要家数変更
 各リスト・パターンXML読込
 各リスト・パターンXML出力
XMLファイル妥当性検証
 終了(上書保存)

各リスト・パターン入力支援ツール
 対象各リスト・パターン
 供出可能量(kW) **63,303**
 適用開始希望年月日 **20210418**
基本情報
 情報区分 **0232**
 提出先事業者 **10033**
 送信事業者 **8***3**
 提出者(アグリゲータ用系統コード) **3Y**5**
 運用モード **通常**

ネガワットリスト		
需要家情報		
NO	供給地点特定番号	需要家名称
1	03111111111111111111	東京工場
2	03222222222222222222	神奈川工場
3	03333333333333333333	千葉工場
4	03444444444444444444	埼玉工場
5	03555555555555555555	群馬工場
6	03666666666666666666	栃木工場
7	03777777777777777777	茨城工場
8	03888888888888888888	静岡工場
9	03999999999999999999	東京物流センター
10	03321321321321321321	栃木VPP研究所

☐ : 必須入力箇所
☐ : 自動入力箇所
☐ : マクロで変更

対象商品ブロック変更
 小売電気事業者数変更
 基準値XML読込
 基準値XML出力
XMLファイル妥当性検証
 終了(上書保存)

三次調整力②基準値計画入力支援ツール
 対象年月日 **20210403**
 対象商品ブロック **ブロック②**
 対象需要家リスト・パターン **パターン⑧**
基本情報
 情報区分 **0132**
 提出先事業者 **10033**
 送信事業者 **8***3**
 提出者(アグリゲータ用系統コード) **3Y**5**
 運用モード **通常**

合計基準値		
合計基準値 = Σ基準値計内訳		
基準値計画合計(kWh) ▲		
対象ブロック	対象30分 コマ番号	時間帯
ブロック①	47	23:00~23:30
	48	23:30~24:00
	01	00:00~00:30
	02	00:30~01:00
	03	01:00~01:30
	04	01:30~02:00
	05	02:00~02:30
ブロック②	06	02:30~03:00
	07	03:00~03:30
	08	03:30~04:00
		8,900
		8,600
		8,400
		8,300

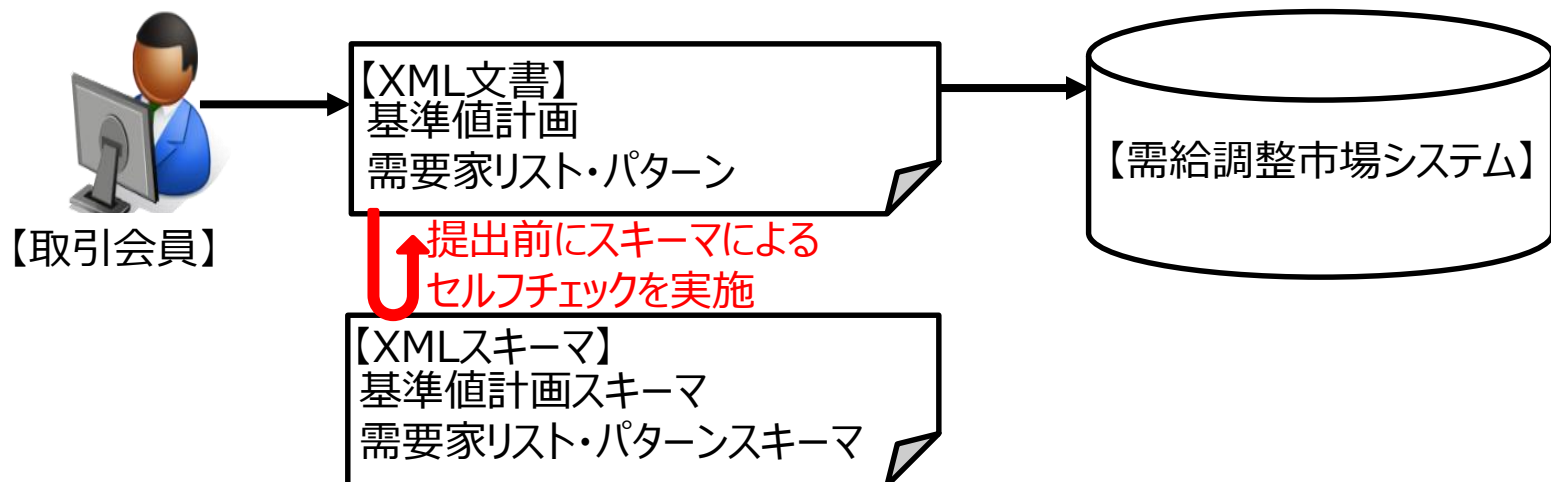
XMLファイルの妥当性確認について

基準値計画および各リスト・パターンを入力支援ツールは、XMLファイルの読み込みおよび出力の際、XMLスキーマによる妥当性確認を実行します。XMLスキーマによってエラーが検出されたXMLファイルについては、エラー修正の上、需給調整市場システムへ登録をお願いします。

入力支援ツール以外で、基準値計画および各リスト・パターンのXMLファイルを作成する場合は、需給調整市場システムへ登録前に、必ずXMLスキーマによる妥当性確認を実施して下さい。基準値計画および各リスト・パターンに対応するスキーマファイル名は下記の通りです。

- ・基準値計画：OCTO-W9-0132-001.xsd
- ・（三次調整力②用）各リスト・パターン：OCTO-W9-0232-001.xsd

【基準値計画および各リスト・パターン提出時の妥当性確認】



以上